



2027年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月11日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL <https://www.morozoff.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山口 信二
 問合せ先責任者 （役職名）代表取締役専務 （氏名）磯野 健治 TEL 078-822-5000
 半期報告書提出予定日 2026年9月14日 配当支払開始予定日 2026年10月6日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年2月1日～2026年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期中間期	16,355	1.0	50	△88.0	136	△70.9	59	△78.3
2026年1月期中間期	16,192	△1.7	424	△41.7	468	△37.4	271	△44.2

（注）包括利益 2027年1月期中間期 230百万円（△19.8％） 2026年1月期中間期 287百万円（△59.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期中間期	2.94	—
2026年1月期中間期	13.43	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期中間期	27,175	19,952	73.4
2026年1月期	28,163	19,873	70.6

（参考）自己資本 2027年1月期中間期 19,952百万円 2026年1月期 19,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	6.00	—	10.00	16.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期（予想）	—	5.00	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年1月期の連結業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,670	1.1	520	△58.9	620	△51.8	290	△54.9	14.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年1月期中間期	20,565,356株	2026年1月期	21,265,356株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年1月期中間期	471,303株	2026年1月期	1,204,758株
-------------	----------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2027年1月期中間期	20,075,255株	2026年1月期中間期	20,213,697株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 1. 2026年2月9日付で自己株式を消却したため、期末発行済株式数が700,000株減少しております。

2. 期末自己株式数には、従業員持株E S O P信託口が保有する当社株式 (2027年1月中間期 235,300株、2026年1月期 261,200株) を含めております。また、従業員持株E S O P信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料の入手方法について

決算補足説明資料は同日、TDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(収益認識関係)	8
3. 補足情報	8
販売実績	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年2月1日～2026年7月31日）における当社グループを取り巻く環境は、雇用や所得環境の改善に伴い景気は緩やかな回復基調にあるものの、中東情勢や円安によるエネルギーおよび原材料価格の高騰に加え、賃金上昇などの影響もあり、物価上昇が続いております。消費者の節約志向が一段と高まっており、商品に対する選別はいつそう厳しさを増しております。

このような環境下において、当社グループは企業スローガンである『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、現在の中期経営計画「つなぐ ～next stage 2031～」に基づく焼菓子戦略やコスト抑制戦略を着実に進めております。

売上面につきましては、焼菓子はレギュラー商品および新ブランド商品ともに好調に推移したものの、バレンタイン商戦が前期1月への前倒し傾向となったことや中元などの夏商戦が低調となり、国内はほぼ前年同期並みの結果となりました。海外では前期は計上されなかった香港の子会社での春節の売上が当中間連結会計期間に計上された結果、当中間連結会計期間の売上高は16,355百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

損益面につきましては、店舗のローコストオペレーションの推進や工場の自動化などを進め、人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の価格改定や設計変更などの原価低減対策に取り組みましたが、カカオやナッツの仕入価格の上昇を中心とした原材料価格高騰、西神第2工場の改修および新船橋工場の稼働による減価償却費や設備の移設費が大きく影響し、営業利益は50百万円（前年同期比88.0%減）、経常利益は136百万円（前年同期比70.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は59百万円（前年同期比78.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、バレンタイン商戦の前期1月への前倒しの影響、昨年の万博商品の反動減、中元などの夏商品の低迷はありましたが、北海道産発酵バターを使用したガレット専門店「太陽のガレット」の1号店を2025年9月に西武池袋本店へ、2号店を2026年4月に松坂屋名古屋店へオープンしたこと、「ファヤージュ」や「オデット」などの主力焼菓子が好調に推移したこと、また香港の子会社で春節の売上計上があり、前年同期を上回る売上高となりました。

洋生菓子につきましては、創立95周年を記念して発売した「95thクリームカスタードプリン」が好調に推移したほか、「クリームリッチチーズケーキ」など期間限定商品が売上に貢献し、前年同期を上回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は15,309百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、メニューの価格や内容の改変等により売上拡大を図った結果、売上高は1,045百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ988百万円減少し、27,175百万円となりました。資産の増減の主なもの、有形固定資産の増加額1,787百万円、仕掛品の増加額1,341百万円、現金及び預金の増加額434百万円、受取手形及び売掛金の減少額4,366百万円、商品及び製品の減少額1,191百万円等であります。負債は前連結会計年度末に比べ1,067百万円減少し、7,222百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加額403百万円、短期借入金の減少額460百万円、その他流動負債の減少額933百万円等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、19,952百万円となりました。なお、その他有価証券評価差額金が142百万円増加し、自己株式の消却等により、資本剰余金が91百万円、利益剰余金が991百万円、自己株式が990百万円それぞれ減少しております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ434百万円増加し、当中間連結会計期間末には2,544百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少、減価償却費の計上、仕入債務の増加、税金等調整前中間純利益の計上、棚卸資産の増加等により、3,901百万円の収入（前年同中間期は3,471百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出等により、2,797百万円の支出（前年同中間期は1,549百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少、配当金の支払等により、679百万円の支出（前年同中間期は323百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月30日に発表いたしました2027年1月期の連結業績予想について変更はありません。なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当中間連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,109,585	2,544,452
受取手形及び売掛金	7,788,270	3,421,399
商品及び製品	2,419,756	1,228,494
仕掛品	455,314	1,797,310
原材料及び貯蔵品	555,094	817,274
その他	99,686	532,955
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	13,426,709	10,340,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,690,997	6,096,324
土地	3,644,738	3,644,738
その他(純額)	4,325,879	2,708,069
有形固定資産合計	10,661,616	12,449,132
無形固定資産		
その他	230,152	213,226
無形固定資産合計	230,152	213,226
投資その他の資産		
投資有価証券	1,514,868	1,705,414
退職給付に係る資産	1,332,642	1,455,438
その他	997,244	1,010,957
投資その他の資産合計	3,844,756	4,171,809
固定資産合計	14,736,524	16,834,169
資産合計	28,163,234	27,175,056
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,016,123	1,419,315
電子記録債務	517,034	464,988
短期借入金	2,145,000	1,685,000
未払法人税等	156,092	105,452
賞与引当金	225,130	190,140
その他	2,894,866	1,961,354
流動負債合計	6,954,247	5,826,251
固定負債		
長期借入金	380,000	332,500
退職給付に係る負債	76,262	81,741
その他	879,339	981,938
固定負債合計	1,335,601	1,396,179
負債合計	8,289,848	7,222,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	4,009,854	3,918,352
利益剰余金	12,846,236	11,854,629
自己株式	△1,674,812	△684,250
株主資本合計	18,918,745	18,826,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	616,946	759,261
土地再評価差額金	284,238	284,238
為替換算調整勘定	97,956	111,109
退職給付に係る調整累計額	△44,502	△28,183
その他の包括利益累計額合計	954,639	1,126,426
純資産合計	19,873,385	19,952,625
負債純資産合計	28,163,234	27,175,056

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
売上高	16,192,722	16,355,902
売上原価	8,041,120	8,461,732
売上総利益	8,151,602	7,894,169
販売費及び一般管理費	7,727,471	7,843,365
営業利益	424,131	50,803
営業外収益		
受取配当金	18,014	19,923
利用分量配当金	—	55,476
債務勘定整理益	15,378	—
その他	30,692	29,566
営業外収益合計	64,086	104,965
営業外費用		
支払利息	12,069	16,678
その他	7,313	2,804
営業外費用合計	19,382	19,482
経常利益	468,834	136,286
特別利益		
投資有価証券売却益	21,905	2,482
特別利益合計	21,905	2,482
特別損失		
固定資産除売却損	5,989	1,040
減損損失	—	253
解体撤去費用	3,980	—
特別損失合計	9,969	1,293
税金等調整前中間純利益	480,771	137,475
法人税等	209,289	78,450
中間純利益	271,481	59,024
親会社株主に帰属する中間純利益	271,481	59,024

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
中間純利益	271,481	59,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,612	142,315
土地再評価差額金	△5,900	—
為替換算調整勘定	△20,314	13,152
退職給付に係る調整額	31,890	16,318
その他の包括利益合計	16,288	171,786
中間包括利益	287,769	230,811
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	287,769	230,811
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	480,771	137,475
減価償却費	309,906	494,593
解体撤去費用	3,980	-
減損損失	-	253
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,660	△34,990
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,166	4,913
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△198,793	△98,446
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,500	-
支払利息	12,069	16,678
受取利息及び受取配当金	△20,632	△21,242
債務勘定整理益	△15,378	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△21,905	△2,482
固定資産除売却損益 (△は益)	5,989	1,040
売上債権の増減額 (△は増加)	3,438,485	4,368,243
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,588	△285,327
仕入債務の増減額 (△は減少)	236,228	347,682
その他	△618,437	△938,716
小計	3,602,699	3,989,673
利息及び配当金の受取額	20,307	21,152
利息の支払額	△13,975	△18,521
法人税等の支払額	△138,019	△91,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,471,012	3,901,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,500,000	-
定期預金の払戻による収入	1,000,000	-
有価証券の売却及び償還による収入	499,692	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,566,409	△2,796,589
投資有価証券の取得による支出	△2,052	△2,448
投資有価証券の売却及び償還による収入	24,317	22,084
その他	△5,390	△20,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,549,843	△2,797,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△460,000
長期借入金の返済による支出	-	△47,500
リース債務の返済による支出	△7,990	△7,990
自己株式の純増減額 (△は増加)	△396	39,056
配当金の支払額	△315,419	△202,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323,807	△679,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,373	10,977
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,581,987	434,866
現金及び現金同等物の期首残高	3,594,650	2,109,585
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,176,638	2,544,452

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年1月30日開催の取締役会決議に基づき、2026年2月9日付で、自己株式700,000株の消却を実施いたしました。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が92百万円、利益剰余金が847百万円、自己株式が940百万円それぞれ減少しました。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

報告セグメント	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
洋菓子製造販売事業計	15,191,276	15,309,910
(内訳)		
干菓子群	10,889,214	10,936,198
洋生菓子群	3,897,500	3,963,180
その他菓子群	404,561	410,531
喫茶・レストラン事業計	1,001,445	1,045,991
顧客との契約から生じる収益	16,192,722	16,355,902
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	16,192,722	16,355,902

3. 補足情報

販売実績

当中間連結会計期間のセグメント別商品群別販売実績は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (収益認識関係)」に記載のとおりであります。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分(商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。
	(クッキー) ファヤージュ、アルカディア、オデット、ガレット オ ブール等。
	(デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。
	(詰合せ) ハッピーパーティ、ロイヤルタイム等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー等。
	(ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ等。
	(半生菓子) マドレーヌ、フィナンシェ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。